

影のなくなる日

「日なたと日かげ」というところを学習したときに、子どもちに、「赤道に近い所までいくと影が見えなくなる日があるんだよ」と話しました。半信半疑のような顔をしていたので、以下のような写真を見せました。これは、マレーシアのクアラルンプールで1999年の9月16日に撮影したものです。順を追って説明します

①12:28頃



この時間だとまだ影が見えています。このあと影はペットボトルの下にもぐるように動いていきます。

②12:51頃



前より、影はだいぶ短くなってきました。あと数分で真下に来ます。

③13:04頃



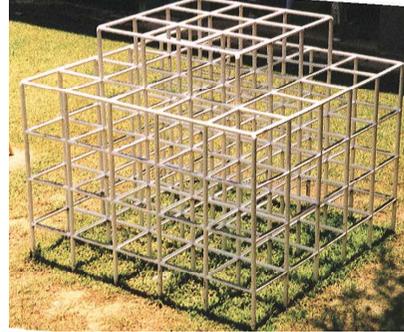
影はペットボトルの真下に来ました。ほとんど影が見えない状態です。

④13:09頃



別の角度から見ても影は真下に見えます。というよりほとんどみえませんか。

⑤ジャングルジム



ジャングルジムの影が晷盤の目のように見えます。

⑥人の影は…



人の影もちょうど真下に来ます。

1年に2回、3月と9月にこういう現象が起こります。この時期、日本は、昼と夜の長さが同じになります。

影が真下に来るということは、太陽が天頂に来ているわけですが、このあと太陽は9月から3月までは南側を通り、3月から9月までは北側を通ります。ですから北窓から日が差し込んでくることもあるのです。頭では分かっているけども実際日常的にこんな事が起こると不思議な感じがしたのを覚えています。

【長命ヶ丘小・多田博茂】